

平成30年度 全国納税貯蓄組合連合会・国税庁

税についての作文 清瀬市教育委員会賞

「あまり知らない税のはたらき」

清瀬第二中学校三年 牧野 遥

税金とは何なのか、どのような働きをしているのか、少し前まで私は全くと言ってよいほど知りませんでした。

詳しく知ることができたのは社会の授業で、もし税金が無かったら…、という様な内容の動画で、自分の知らない所で税金が使われているので驚きました。この国からもし、税金が無くなったら…と思うととても怖いです。

税とは、私が考えていたよりもずっと大切なものでした。昔、自分達が使っていた公園や図書館、市民プールだけでなく、町の安全を守ってくれる警察官、火事が起きた時に助けてくれる消防士の方など、町のために働いている人々の給料にも税金が使われているので、税金が無くなるということは、それらの町のための建物、人々がいなくなるということにつながり、結局町の人々がさらに苦しむことになってきます。

今まで、税の大切さを知らずに、増税するのは嫌だな、と思っていた私ですが、社会の授業を通してあらためて税のことを知り、税の大

切さがとても良くわかりました。

一見、お金を取られてしまうだけに感じてしまいましたが、皆で出し合ったお金で町がより良くなるならばらしいことではないでしょうか。

アメリカではソーダ税、ハンガリーではポテチ税などの、国民の肥満防止を目的として、スナック菓子、清涼飲料水等の糖分や塩分が多い食品に課税をしていたそうです。

また、日本でもお酒やたばこなどの体に害のある商品に酒税、たばこ税として、現在も課税されています。

教育費においても税金でまかっているものは数多くあります。例えば小学校・中学校での教科書のお金です。ほとんどのページがカラーで沢山のお金がかかるはずです。他には先生方のお給料です。もし先生方のお給料が税から出なくなったら、生徒達が授業料として莫大なお金を出さなくては、先生の授業を受けることができなくなってしまう。

このように日本では恵まれた環境で勉強をすることができていますが、世界には、学校へ行きたくても行けない、勉強できない、という様な国もあります。そう考えてみると、日本の子供達は恵まれているのではないのでしょうか。

まだ、税金は払いたくない、必要ない、などと思っている人は視点を变えて、もっとよく考えてみてください。そうすれば税金に対しての

考え方も変わるはずですよ。

これからは私も税金のありがたみを感じながら暮らしていきたいですよ。